



ホームページURL : <https://www.yachiyo.ed.jp/easo>

今年度のESDの重点目標

すべての学校教育活動をSDGsの視点で捉え直し実践することにより、
児童、教職員、保護者、地域のESDへの意識化を図る

【令和3年度 ESD 実践報告】

児童会活動との連携

できることから始めよう！

- ・SDGsビンゴに全校で挑戦！
「SDGsってなんだろう？」
- ・緑の募金
「森林づくり・里山の保全，資源の循環を支援しよう！」
- ・赤い羽根共同募金
「助けを必要としている人たちのための支援しよう！」



教科・領域指導として



国語科 (本校研究教科)



<2学年> 「さけが大きくなるまで」

鮭が自然界で生きることの大変さを理解し、海や海洋生物の関心をもつことができた。給食のメニューにある魚の名前を覚えるなど、生命の大切さと命をいただくことへの感謝など、実践をとおして学んだ

<3学年> 「世界の人につたわるように」

絵文字を通して、言語や年齢を超えて平等に情報を伝えることの大切さを学習した。「学校生活が便利になる絵文字を作ろう」を学習のゴールとし、低学年でも分かるような絵文字を作成し、校内に掲示した。

<4学年> 「新聞づくりをしよう」

栄養士による食育の授業を通して、残菜や世界の給食について学習し、残った残菜の行方や世界と日本の食文化の違いを新聞にまとめてまとめた。世界の飢餓についても学習し、自分たちができることについて考えた。

<5学年> 「白神山地からの提言」

自然遺産としての意味を知り、豊かな自然を守り続けていこうとすることを考えた。また、総合的学習と関連させ、日本における世界遺産の保護という視点で、パワーポイントを活用し、プレゼンテーションを行った。



生活科・理科



<1学年> 「いきものをそだてよう」

さつまいもを育てることで、植物を育てるには時間がかかること、天候に左右されること学んだ。また、小さい芋や腐りかけていた芋やツルも捨ててしまわずに、芋版にしたり、さつまいもリースにしたりして遊んだ。

<6学年> 「私たちの生活と電気」

作る電気・貯める電気についての学習後、身の回りでこの単元で学習したことが活かされている物や事象について話し合った。電気を作る・貯めるということは地球の資源や環境にも強く影響していることに気付くことができた。



図工



<にじいろ学級>

「リサイクル工作をしよう」

不用品を使って学校生活で利用できるものを作成した。段ボールを使った武器作ったり、ペットボトルのキャップと牛乳パックを使って運動会の応援グッズ用の手作りカスターネットを作ったりした。作成にあたりみんなで相談、協力し、普段からものを大切にする気持ちや、実際に行動することの大切さを学んだ。